

## 2. 委員会活動及び広報広聴活動から見た議員定数のあり方

### 現行体制についての主な議論 (3常任委員会、各8人)



定数24人の中で、4常任委員会6人の体制から3常任委員会各8人の体制に変更し、機能強化を図った経緯がある。今まで以上に市民の声をお聴きするとともに議会の存在意義や役割についての市民理解を促進しなければならない。外部環境の変化に対応するためには、4常任委員会体制として専門性を高めることが望ましいが、更なる議会機能の向上を図ることを前提として、現行の3常任委員会各8人体制とするのが妥当な判断である。

### 増員についての主な議論



行政の組織や事業が多角化・高度化する中、3常任委員会ではカバーし切れない。4常任委員会で各7人～8人とし、専門的に審査・調査できる体制をとるべき。

高山市議会として、平成22年に24名体制で全市域をカバーすると市民の皆様にお約束してきたことを重要視しなければならない。

### 減員についての主な議論



各議員が最大限努力し、自己研鑽する中で議会機能の強化を図れば、減員しても現在の審査・調査の水準を維持できる。

外部環境等の変化への対応のために更なる機能向上を図る取り組みが必要となっている中、減員することは困難。少数精鋭とすることは、議会側の取組だけでは困難。

## 議会機能の維持・向上のための今後の主な取組

- 議会<sup>の</sup>存在意義や役割についての市民理解の促進  
多様な広報ツールの活用、議会モニター<sup>の</sup>増員と有効活用、議員による出前講座の実施
- 民意吸収機能の向上  
市民意見交換会の拡充、より効果的な広聴手法の検討、議員による相談窓口の設置
- 議会活動の水準の維持・向上  
議会活動の評価及び改善のための仕組みの完成、議員に必要な基本的スキルや知識を効果的・効率的に習得できる研修システムの構築、政策提言及び質問の充実、議会DXの推進
- 複雑化、多様化する行政課題への的確な対応  
横断的かつ重要な課題に対応するための連合審査の活用及び特別委員会の設置、多様な分野の課題について専門的に学べる研修機会の確保、議会の審査及び調査機能を向上させるためのシンクタンク機能についての検討
- 支所地域の課題の把握と解決策の提起  
支所地域の課題把握の仕組づくり、支所地域の課題と解決策について検討する組織の設置
- 女性や若者の政治参加の促進  
女性議員を増やすための具体的な方策の検討、女性や若者との意見交換の場の充実、高校生との意見交換会の充実